

授業科目 社会調査

【担当教員名】 鈴木 未来		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：G10】 社会調査の意義と方法を理解する 調査設計の手法や分析方法および調査結果の活用法を習得する					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 資格試験の試験問題の解答の方法を調べる 2. 社会調査の意義と歴史について説明できる 3. 社会調査の実施に向けた調査設計と分析を実施できる 4. 社会調査の倫理について述べるができる 5. 社会調査の実施にあたっての IT の活用方法について概説できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会福祉と社会調査 1 (社会調査とは何か、社会福祉士の役割と社会調査)			1, 2, 3	講義
2	社会福祉と社会調査 2 (社会福祉と社会調査)			1, 2	講義
3	社会調査の概要 1 (社会調査の意義と目的、社会調査の対象と方法)			1, 3	講義
4	社会調査の概要 2 (社会調査を取り巻く状況、統計法の概要)			1, 3	講義
5	量的調査の方法 1 (量的調査の特徴と種類)			1, 3	講義
6	量的調査の方法 2 (調査票 (質問紙) の作成方法と留意点、調査票の配布と回収)			1, 3	講義
7	量的調査の方法 3 (量的調査におけるデータ解析 1)			1, 3	講義
8	量的調査の方法 4 (量的調査におけるデータ解析 2)			1, 3	講義
9	質的調査の方法 1 (質的調査の特徴と種類、調査設計)			1, 3	講義
10	質的調査の方法 2 (対象者の選定と調査手続き、調査手法)			1, 3	講義
11	質的調査の方法 3 (質的調査における調査の実施)			1, 3	講義
12	質的調査の方法 4 (質的調査におけるデータの分析、質的調査における発表・報告)			1, 3	講義
13	社会調査における倫理と個人情報			1, 4	講義
14	社会調査の実施にあたっての IT の活用方法			1, 5	講義
15	まとめ			1	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 5 社会調査の基礎 第3版	社会福祉士養成 講座編集委員会	中央法規出版	2013・2,200円+税
参考書		データはウソをつく 科学的な社会調査の方法	谷岡 一郎	筑摩書房	2007・760円+税
		「あたりまえ」を疑う社会学 質的調査のセンス	好井 裕明	光文社	2006・740円+税
		ひとりで学べる社会統計学	浅川 達人	ミネルヴァ書房	2011・2,200円+税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況及び定期試験			【履修上の留意点】		